

名前: _____ 日付: _____

1. 「()も三年」とは、つらいことでもがまんして続ければよい結果が出るという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

2. 「ちりも積もれば()となる」とは、わずかなものでも積み重なれば大きなものになるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

3. 「()は身を助ける」とは、身につけた技能がいつか自分の役に立つという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

4. 「()に小判」とは、価値のあるものを与えても、その価値が分からない人には意味がないというたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

5. 「()の道も一歩から」とは、大きな目標も小さな努力の積み重ねから始まるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

6. 「すずめ百まで()忘れず」とは、小さいころに身についた習慣は年をとっても変わらないという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

7. 「()も口に苦し」とは、自分のためになる忠告ほど聞くのがつらいという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

8. 「()の耳に念仏」とは、いくら言っても効き目がないという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

9. 「()あれば水心」とは、相手が好意を示せば自分も好意を返すという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

10. 「()の威を借る狐」とは、強い者の力を借りていばる人のたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

11. 「()も歩けば棒に当たる」とは、出歩けば思いがけない出来事に出会うという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

12. 「井の中の蛙()を知らず」とは、自分の狭い知識だけで物事を判断することのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

13. 「()の上の鯉」とは、人のなすままになるしかない状況のたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

14. 「()も実るほど頭を垂れる」とは、立派な人ほど謙虚であるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

15. 「()の一声」とは、大勢の議論よりも有力者の一言でものごとが決まるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

16. 「うそも()」とは、時と場合によってはうそをつくことも必要だという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

17. 「()の中の蛙大海を知らず」とは、自分の狭い知識だけで物事を判断することのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

18. 「()ぬき」とは、まだ実現していないことをあてにして計画を立てるという意味です。「とらぬ()の皮算用」の()に入る言葉を書きましょう。 _____

19. 「二()を追う者は一兎をも得ず」とは、同時に二つのことをしようとすると両方とも失敗するという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

20. 「()は一生の恥」とは、知らないことを聞くのは少しの恥でも、知らないままにいるのは一生の恥になるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

()に当てはまる言葉を書きましょう。

4年生 国語 ことわざ 解答

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 石の上に | 2. 山 |
| 3. 芸 | 4. ねこ |
| 5. 千里 | 6. 踊り |
| 7. 良薬 | 8. 馬 |
| 9. 魚心 | 10. とら |
| 11. 犬 | 12. 大海 |
| 13. まないた | 14. 稲穂 |
| 15. 鶴 | 16. 方便 |
| 17. 井 | 18. たぬき |
| 19. 兎 | 20. 聞くは一時 |